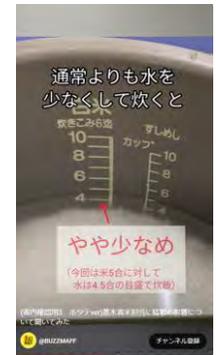


令和5年夏の高温・渇水被害に対する農水省の対応②

- 令和5年今夏の高温・渇水の影響を受け、白未熟粒が多発し、米の農産物検査における1等比率が低下している地域も発生。
- 農産物検査の等級は、精米する際の歩留まりの目安であり、おいしさの格付けではない。
- 白未熟粒は、精米過程で除去される場合が多いが、乳白色になった粒が多いお米についても、早炊きモードの使用や水加減を少なくすることなどによりおいしく炊けることを農水省公式YouTubeチャンネル「BUZZ MAFF（バズマフ）」「maffchannel（マフチャンネル）」にて情報発信。

【BUZZMAFF】

- ・猛暑による影響とおいしく食べる方法について、農水省職員が出演した60秒程度のショート動画を作成
- ・早炊きモードの使用や通常よりも水を少なめに炊くと、乳白色の粒が多い米もおいしく食べられることを情報発信（令和6年6月4日時点 再生回数1.1万）



【maffchannel】

- ・米の食味の専門家の大坪研一教授、お米マイスターの澁谷梨絵さんにも出演いただき、4分程度の動画を作成
- ・米の検査等級はおいしさの格付けではないことについて説明（令和6年6月末時点 再生回数4千）



～今年の猛暑とお米の食べ方について～

今年の新米は、猛暑で乳白色になっているものもあります。皆さんが目にするお米は精米されているので、気にならないかもしれませんが、もし、買われたお米が、「いつもより少し白いかな？」というときは、この動画を参考にしてください。



新潟薬科大学
大坪研一教授



五ツ星お米マイスター
澁谷梨絵さん

（参考）【JA系統の取組】

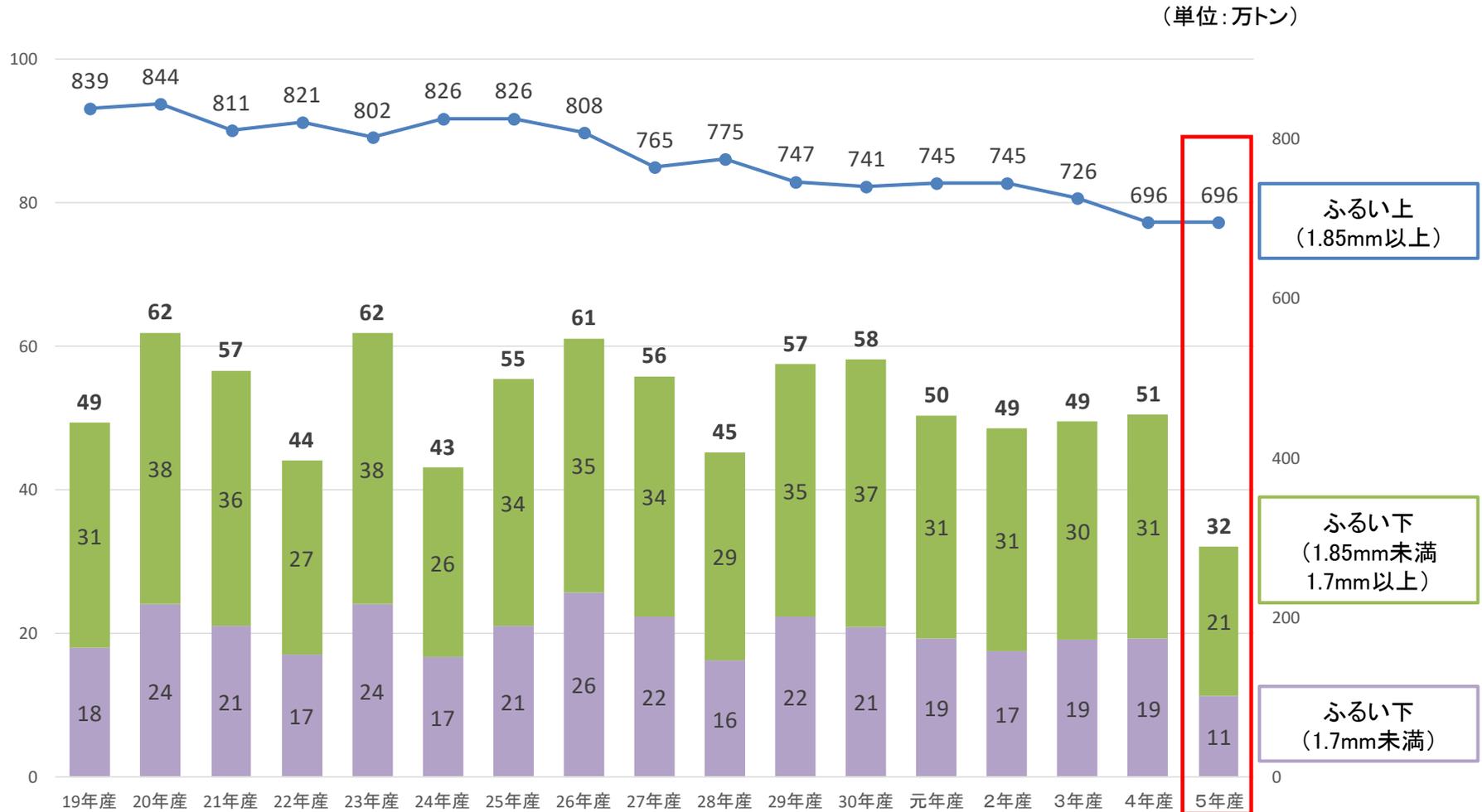
- ・JA全農が石川佳純さんを迎え、「新米試食会イベント」を開催
- ・令和5年産の新米を試食して食レポするほか、猛暑の影響を受けたお米について、専門家が炊き方などを紹介

日時: 11/15(水) 11時～12時

場所: アグベンチャーラボ(東京都千代田区大手町1-6-1)

ふるい下米の発生量（推計）

○ 令和5年産は、記録的な高温等により粒が充実し、ふるい上米の生産量は前年産と同程度であったが、ふるい下米の発生量が減少。



注1：1.85mm以上ふるい上及び1.85mm未満1.7mm以上ふるい下米の発生量は、統計部により公表されているふるい目幅別収穫量（子実用）により推計。

注2：1.7mm未満ふるい下米の発生量は、統計部により公表されている10a当たり粗玄米重と10a当たり玄米重の差に子実用作付面積を乗じて推計。

MA米及び政府備蓄米の加工原材料用途への販売について

- 令和5年11月以降のMA米の販売数量は、国産加工原材料用米穀（ふるい下米等）の供給量の減少を受け、前年同期比+90%程度と大きく増加。
- 平成24年産におけるふるい下米発生量の減少に伴う国産加工原材料用米穀の不足分に対して、平成25年4月に約2.7万トンの政府備蓄米を販売。

■MA米の加工原材料用途への販売数量の動向 (前年同期比)(速報)

(単位:実トン、%)

		11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	計
SBS米 (破碎精米粹)	4年度	-	1,700	2,400	540	1,600	-	-	-	6,240
	5年度	200	708	848	1,228	200	-	-	-	3,184
	(前年同期比)	-	(42%)	(35%)	(227%)	(13%)	-	-	-	(51%)
	6年度	2,340	2,500	1,480	1,426	1,708	-	-	-	9,454
(前年同期比)	(1,170%)	(353%)	(175%)	(116%)	(854%)	-	-	-	(297%)	
一般輸入米	4年度	7,929	8,565	5,532	7,516	8,821	5,247	5,986	5,975	55,572
	5年度	5,720	6,796	5,404	6,416	8,384	4,151	5,004	6,025	47,900
	(前年同期比)	(72%)	(79%)	(98%)	(85%)	(95%)	(79%)	(84%)	(101%)	(86%)
	6年度	7,237	8,212	8,535	11,261	13,644	11,466	13,930	14,235	88,519
(前年同期比)	(127%)	(121%)	(158%)	(176%)	(163%)	(276%)	(278%)	(236%)	(185%)	
販売数量計	4年度	7,929	10,265	7,932	8,056	10,421	5,247	5,986	5,975	61,812
	5年度	5,920	7,504	6,252	7,644	8,584	4,151	5,004	6,025	51,084
	(前年同期差)	(▲2,009)	(▲2,761)	(▲1,680)	(▲412)	(▲1,837)	(▲1,096)	(▲982)	(+50)	(▲10,729)
	(前年同期比)	(75%)	(73%)	(79%)	(95%)	(82%)	(79%)	(84%)	(101%)	(83%)
	6年度	9,577	10,712	10,015	12,687	15,352	11,466	13,930	14,235	97,973
	(前年同期差)	(+3,657)	(+3,208)	(+3,763)	(+5,043)	(+6,768)	(+7,315)	(+8,926)	(+8,209)	(+46,889)
(前年同期比)	(162%)	(143%)	(160%)	(166%)	(179%)	(276%)	(278%)	(236%)	(192%)	

■政府備蓄米の加工用途向け販売実績 (平成18年産を販売)

(単位:玄米トン)

	販売数量
平成23年産加工用米不足代替販売 (平成24年4~6月)	4,875
平成24年産加工用米不足代替販売 (平成24年10月)	38,968
国産加工原材料用米穀(ふるい下米等) 不足代替販売(平成25年4月)(※)	26,854
計	70,697

(※)平成25年4月の販売に当たっては、平成25年産加工用米購入希望数量に、政府備蓄米購入契約数量以上を上乗せすることを条件として販売。

注1：年度は米穀年度（前年11月から当年10月まで）。

2：令和6米穀年度は速報値。

④ 新規需要米等の取組状況
